

予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会・当初予算分]

1 日 時 令和3年3月22日（月曜日）

開 会 午後 1時10分

閉 会 午後 1時23分

2 場 所 議 場

3 出席委員 35人

委員長 柞 山 数 男

副委員長 堀 江 かず代

委 員 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

// 竹 田 勝

// 上 野 蛍

// 木 下 章 広

// 押 田 大 祐

// 江 西 照 康

// 高 田 真 里

// 高 道 秋 彦

// 東 篤

委 員	金 井 毅 俊
//	小 西 直 樹
//	大 島 満
//	成 田 光 雄
//	松 尾 茂
//	尾 上 一 彦
//	橋 本 雅 雄
//	松 井 桂 将
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	佐 藤 則 寿
//	金 厚 有 豊
//	鋪 田 博 紀
//	高 田 重 信
//	赤 星 ゆかり
//	村 上 和 久
//	村 家 博
//	有 澤 守
//	高 見 隆 夫
//	五 本 幸 正

4 欠席委員 0人

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長 舍 川 智 也

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	野嶽 誠司
議事調査課長代理	中山 崇
議事調査課議事係長	酒井 優
議事調査課主査	中村 千里
議事調査課主任	熊谷 法子

7 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。

これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、成田総務文教分科会長。

総務文教分科会長 総務文教分科会での審査につきまして、御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第2号中企画管理部所管分について、次のような反対意見の表明がありました。

自転車市民共同利用システム、アヴィレの導入とともに、シティスケープのシステムが開始されているが、当初は、広告収入や登録料等によって事業が運営されており、市から有料で広告を出すことは考えていないとの方針が示されていた。しかしながら、現在、市からの広告料は3,000万円を超えている。市内のデザイン業者や広告業者をもっと活用し、育成していくべきとの考えから、この予算には反対であるという観点からの反対意見がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、高田厚生分科会長。

厚生分科会長 厚生分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件7件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
初めに、議案第2号中こども家庭部所管分の特定不妊治療費助成事業について申し上げます。
委員から、これまでに助成を受けられた夫婦は何組くらいおられ、また、市当局としてこの事業をどのように評価しているのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、令和元年度の実績では462組の夫婦が、延べ754回の助成を

受けておられ、また、今年度は新型コロナウイルスの影響で少し減ってはいるものの、延べ622組ほどを見込んでおります。

ここ数年の傾向として、治療を受けられた方のうち、妊娠される方の割合が増えてきております。このうち、年間150人から200人が出産に至っており、これは全出生数の5%から6%に当たります。

出生数が毎年数十人から100人くらいずつ減ってきている状況にあって、この事業は非常に少子化対策にもつながっていると考えておりますとの答弁がありました。

次に、議案第21号 令和3年度富山市病院事業会計予算について申し上げます。

委員から、入院支援センターを設置されるとのことだが、業務の具体的なイメージはどのようなものかとの質問がありました。

これに対し、当局から、入院する際に必要となるいろいろな説明などを1か所で行い、業務を標準化することで外来・入院担当の看護師の負担軽減を図るとともに、薬剤師や栄養士も関わることで、例えば持参薬のチェック漏れといったようなリスクも低減させることができると考えております。

そして何よりも、入院前のいろいろな検査をスムーズに行えることで、患者の負担軽減を

図ることができると考えておりますとの答弁がありました。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、江西経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、予算案件7件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第2号中農林水産部所管分の国内プロモーション推進事業について申し上げます。
委員から、新型コロナウイルス感染症の影響で需要の落ち込んだ農林水産物の生産者等を支援するため、都内で富山市農林水産物ワンウィークジャックフェアを開催するとのことだが、いつ頃開催する計画を立てているのか。

また、どのような野菜を販売しようと考えているのかとの質問がありました。

これに対し当局から、富山市農林水産物ワンウィークジャックフェアの開催時期については、新型コロナウイルスの感染状況も関係することから、現時点では定めていないものの、収束すればすぐにでも開催できるよう、準備を進めていきたいと考えております。

また、野菜の販売については、白菜などの葉物野菜やサツマイモ等を、生産者の声を聞きながら提供することを考えております。

そのほかにも、取引業者からは、富山は日本酒が有名であることから、日本酒を取引したいとの声もいただいておりますとの答弁がありました。

これを受けて委員から、現地の方々とも相談をし、しっかりと市場調査なども行いながら実施してほしいとの要望がありました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、押田建設分科会長。

建設分科会長 建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
議案第2号中活力都市創造部所管分の公共交通活性化推進事業費（市民向けゴールドパス導入事業）について申し上げます。
委員から、新たな公共交通利用促進策を検討するため、市と富山大学と富山地方鉄道株式会社が連携して社会実験を行うとのことだが、富山大学に期待する役割はどのようなものか。
また、本事業の将来的なイメージをどのように描いているのかとの質問がありました。
これに対し、当局から、富山大学では、データサイエンス推進センターを設置され、データの分析と活用方法の研究に積極的に取り組んでおられます。このことから、富山地方鉄道から提供されるデータを効果的に分析し、社会実験の効果などを見える化する役割を担っていただくことを期待しております。
今回の事業は、63歳以上を対象としたフリーIC定期券を低価格で販売し、社会実験を

行うものであります。ヨーロッパの公共交通の先進国では、全年齢を対象にしたフリー乗車券を販売することで利用者が増え、環境にも優しいまちが実現されていると聞いております。公共交通の利便性を向上させる、そのような運賃政策に少しでも近づけないかということで、この事業を通じ、利用状況などのデータ分析を行い、ニーズに応じたいろいろなフリー定期券の販売の可能性などを富山大学や富山地方鉄道とともに研究してまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
以上で、質疑は終結いたしました。
これより、議案第2号を起立により、採決いたします。
本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は、原案可決されました。

次に、議案第8号を起立により、採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに、賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は、原案可決されました。

次に、議案第3号から議案第7号まで、及び議案第9号から議案第21号まで、以上18件を一括して、採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は、原案可決されました。

これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和3年3月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和3年3月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 柞山 数男

副委員長 堀江 かず代

署名委員 上野 蛍

署名委員 東 篤